

令和6年8月8日発生地震による志布志市小浜地区の斜面崩壊について

発生日時: 令和6年8月8日16時43分
場所: 志布志市志布志町帖
被害状況: 人家・人的被害なし
崩壊規模(推定): がいけ高40m 幅35m

推計震度分布



位置図



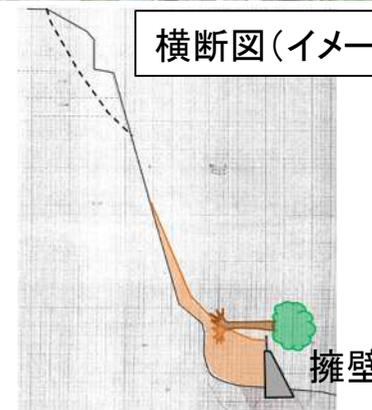
崩壊状況



調査状況



横断図(イメージ)



- 鹿児島県土砂災害対策アドバイザー(地頭菌名誉教授)に下記助言をいただいた。
- ・ 崩壊土砂を概ね擁壁で捕捉しており、**施設の効果が発揮**されている。
 - ・ 今回の崩壊は、通常の表層崩壊ではなく、揺れに伴いシラス堆積時に発生したシラス内部の縦クラック沿いに崩落する地震時特有の現象。
 - ・ 今後の地震により、両脇で同様の崩壊が起こる可能性が有るが、待ち受け式擁壁が機能しており、崩壊土砂がJR線を越えるおそれはない。
 - ・ 現時点で避難の必要は無いが、土砂災害警戒区域内は、大雨の際は避難すべき。
 - ・ 余震が収まった段階でポケットの堆積土砂を取除き容量を確保できれば良い。